

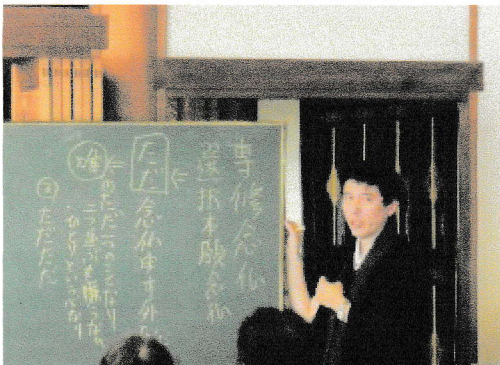
仏具磨き・親鸞聖人報恩講・口笛コンサート



去る11/23(土・祝)午後2時半～徳成寺において、仏具磨きとお楽しみ抽選会を催しました。当日は、お天気にも恵まれ、多くの皆さんにたすけて頂いたおかげで、仏具が見違えるようにピカピカになりました。これで翌週の報恩講の準備万端整いました。ありがとうございました。

次に、12/1(日)の午後1時～親鸞聖人報恩講を執り行いました。親鸞聖人のいつでもどこでも、どなたでも仏様と共に歩めるようにして下さったお仕事に感謝してお勤め致

しました。親鸞聖人が一番喜ばれるであろう仏教徒の誕生である帰敬式を執り行いました。右の写真は、受式者が今後、仏教徒としての生涯を送る誓いを立てて「誓いの言葉」を仏前で述べている様子と記念撮影です。それぞれに法名を授かって、今日からスタートです。こうして毎年数名ずつですが、帰敬式を受式し仏教徒が生まれ行く事は、同じ仏教徒として何物にもかえがたい喜びであります。受式者の皆さん本当におめでとうございました。



お話は、年に一度住職自らご法話させて頂いています。この日は、2019年の徳成寺を振り返りつつ「あるがままに心を開く」と題してお話し致しました。親鸞聖人が遺して下さった、いつでもどこでもどなたでも仏様と歩める「ただ念仏申す外なし」という仏教と、どこで私たちにその教えが響くのか?という流れでお話ししました。「当たり前が当たり前でなかったと感じ、あるがままに心を開く」ことができた時、お念仏の教えが響くのです。今一度何を当たり前にして生きているか点検し、感動と喜びに包まれた日々を送って下さいという内容でした。

今年最後の寺ともサービスは、田所敦さんの口笛ミニコンサートでした。田所さんは、香川が輩出した世界的口笛奏者です。この催しに反響があり、とある喫茶店に坊守と長女が入ったら近くの席から、この口笛コンサートの話題を話しているグループに出くわしたとか。プッチーニの「誰も寝てはならぬ」や「花は咲く」などを手品も交えて聞かせて下さいました。アンコールにも応えて頂いた後に、米津玄師の「Lemon」(アカペラ)は本当に最高でした!!

